

2016年度 第4回 動物実験委員会議事録

日 時 2017年1月12日 木曜日 12:14～12:44
場 所 大学会議室
出席者 谷川委員長、尾上副委員長、目野、清末、田川
陪席者 小川

報告事項

1. 動物実験施設等の視察について

谷川委員長の指名により、目野教授から配付資料に沿って次のとおり報告がなされた。

- ・ 視察実施日は、2016年12月22日。
- ・ 動物実験施設の飼養保管状況及び実験の実施状況の視察を行い、動物実験が適切に実施されたことを確認した。

以上の報告の後、学長に視察結果を報告することを確認した。

2. 動物実験に関する検証結果報告書（案）について

谷川委員長の指名により、小川庶務課長から配付資料に沿って、報告書（案）の概要について報告がなされた。

- ・ 動物実験に関する検証結果報告書（案）を受信した。
- ・ 報告書（案）の検証の総評によれば、概して良好な判定ではあったが、動物実験に関する最新情報の一部不足等に由来する不十分な点の指摘がなされている。
- ・ 機関内規程改正等の対応が必要である。
- ・ 大学機関別認証評価と同様に、報告書（案）に対して意見申し立てが可能である。

以上の報告の後、報告書（案）に対する意見申し立ては行わないことを確認した。

審議事項

1. 動物実験に関する外部検証の検証結果への対応について

谷川委員長から、今後外部から不備を指摘されることがないように、今年度中に管理体制の整備をしておきたい旨が述べられた。

引き続き、谷川委員長の指名により、小川庶務課長から「動物実験に関する外部検証の検証結果に対する対応」（配付資料）に基づき、対応策等の説明がなされた。

- ・ 対応策の中で優先度が高いものは、2016年度中に改善を行う必要がある。一部規程の改正、様式の変更、手順書の作成などが考えられる。
- ・ 規程改正を行うのであれば、1月下旬までに改正案を作成し、委員会の承認を得たい。
- ・ 様式の変更、手順書の作成などについては、2月中に原案が作成できればよいと考える。
- ・ 優先度は高くないが、検討を行うべき事項については、できることから段階的に

実施・検討を行っていく必要がある。

清末委員から、指摘事項であった「学生、助手及び教育支援職員への教育訓練の実施」について、今年度は確実に実施した旨が報告された。

意見交換の後、「動物実験に関する外部検証の検証結果に対する対応」（配付資料）に従って管理体制の整備を行うことが承認された。

また、動物実験に関する最新情報等を入手するために、積極的に研修会や説明会に参加することが確認された。

以上

記録 小 川 尚